

## 復命書

2009年10月19日

新政会 代表  
望月 厚司 様

議員名 佐藤成子

下記のとおり、政務調査費による視察を実施したので、ご報告します。

1 日 時	2009年10月17日(土) 13:00から17:00	
2 視 察 先	(1) 都 市 名 視 察 先 施 設 等	第15期・女性のための政治スクール
	(2) 対 応 者	鈴木宗雄・衆議院外務委員会委員長 佐藤優・作家、元外務省主任分析官
3 目 的	15期のテーマ 経済危機を乗り越える～命・生活・雇用を守るために～10回シリーズのカリキュラム 例年、全国から参加の地方議員との情報交換も含めて、各回著名な方々のタイムリーな講義を聞いて、政策立案や総括質問など議員活動に生かすために参加している	
4 内 容	(調査事項・調査結果を具体的に) 鈴木宗雄 『日本の外交姿勢』  大学4年生のころから衆議院議員の秘書をスタートしたのを皮切りに大臣秘書官を経て、衆議院議員に。宇野内閣・海部内閣宮沢内閣の防衛政務次官、外務政務次官を歴任。平成6年沖縄・北方問題に関する特別委員会委員長。橋本内閣では、国務大臣北海道・沖縄開発庁長官に。そして小渕内閣では内閣官房副長官に。輝かしい？経歴がびっしり書いてある資料が配られた。人生が少し変わったのが平成14年の自民党離党、16年の衆議院落選。17年の新党大地結成。21年の衆議院8期当選、現在、衆議院外務委員会委員長。この間の437日間拘留されていた経験の話から始まった。娘さんから言われた『自分の歩いた人生を否定しないでください。』の言葉と、奥さんの『自分が正しいと思うなら	

戦いなさい。後援会は私が守る』本当に励まされた。“言葉は力なりき”と実感したといいます。家族の支えで頑張れたと。そして、中川昭一氏の死に触れ、家族は何をしていたのだろうか。人間なんて強そうで弱い。ちょっとした気を使ってくればとても残念だ。自分は24時間必ず誰かが傍にいて一人にできなかった。世の無常を感じる。同時に命あることに感謝している。これらの話を聞いていると、とても人情味あふれる人柄が伺える。

4島返還の話。橋本・エリチン会談、川奈会談。小渕首相になっていて、25年ぶりにモスクワに。元住民を自由訪問させてほしいということが決まった。外交は人だ。取り巻きの動きプレイヤーの影響チームワークが大事だ。東京宣言・5通理りのシナリオがある。イルクーツク声明、森・プーチン会談、齒舞・色丹を返す。2島返還の方法。国後・択捉と同時に4島返還を望んだ小泉政権。どんなアプローチがあるのか？1回で返還は無理。戦争で取られたら戦争で取り返すのが基本。民主的とは、折り合いだ。4島一括宣言を忘れてください。まずその帰属について話し合う。かかわりが深いということはよく理解しているのが当たり前。かなり深い影の話があることが推測できた。人生生きていればよい事が必ずある。計算道理にはいかないものだ。あきらめないうちで、正直に信念を持って生きていけばいい。人生逆転がある。あきらめるな。挫折があっても、失敗があっても、チャンスがある。勇気、生きる希望を与えていきたい。

国会でも地方でも女性議員を増やす。女性の強さを広げる。人生訓を含め、熱い思いが語られた。

佐藤優 『激動の世界情勢と日本のゆくえ』

“外交と女性” “時代が帝国主義の方向へ” “オバマさんの幻想” “中国・北朝鮮問題” “民主党への期待” “政治って何”などを話したい。スクールの語源はスカラー、スコラー（ひま）暇人は最高のほめ言葉。労働は近代になってからのこと。ポリス（polis）は政治、国家で、その規則は法（vovos）それに対峙するのが、オイコス（oikos）は経済、家庭の事。規則はなく暴力（bia）。無自覚のうちに男性は暴力とかかわる。ジェンダーに対する意識が抜けていた外交。北朝鮮、圧力に圧力。民主党、エリートの構成を変える。東西冷戦は共産革命を打破すること。ナチズムはア

	<p>ーリア優れているという考え方。ファシズムとナチズムの違いは？オバマ勝利演説は、par—ty・part パート、部分の集まり・代表の集まりの代表。戦争はアメリカの公共事業。キリスト教・イスラム教・ユダヤ教。アフガニスタンとタリバン。ノーベル平和賞を与えての牽制球。日本の民主党は、政治の原点。安全保障政策や社会的機能をいかにつくるか。部分代表が集まって作る政党政治。ジェンダーの観点が必要だ。アハマティアブアクション（積極的政策転換）教育が大事だ。モンテスキュー“法の精神”を読んでほしい。</p>
<p>5 成果・市政への反映等</p>	<p>経験はどう生かすかを学んだ。人とどのようにかかわるか、どうネットワークするか、社会の仕組みづくりが人を活かすのだと思った。点を面にする力を付ける必要がある。ただ、一步間違えると大変なことになる。NPOなどの活用の仕方や指定管理者の指定の仕方などがいかに大事かを確認できたので、その視点を活かしたい。国政において、いかにしっかりと外交政策・防衛政策を行えるかが私たちの生活につながる。声を出しながら正していく必要があると思った。</p> <p>これから進む日本国としての動き、地方が力を付けていかなければならない時代だ。しっかりとした地方政府樹立のための布石づくりをしていかなければと思う。</p>